

山ふかく川きよきところ君と二人

庭とりかひて宿をしめばや

佐々木信綱

舟窓によりそひ見れば薰ふきの

家居みつ四つ庭とりのこま

琴の音

今宵の月に

あくがれて

鷺水

里の小川に

来て見れば

誰かむすびけん

程遠は

彼方の岡の

伏やより

かすかにもるゝ

琴の音に

思ひ出けり

故里の君

此世の旅路

あはれ愛き世と

世をかこち

東くめ子

はかなきものと

余りに弱き

余りにもろき

此世の旅路

この世の海路

道けはしとて

波あらしとて

ふるひたゞや

叫ぶをやめよ

戦ひまけし

憐をこふ

身をなげく

人の子よ

人の子よ

山たかく

波あらし

泣くべきか

なくべきか

人の子よ

行路難

兵のごと

人のごと

蝶

胡蝶や胡蝶やせてふ

小畑いく子